

プーチン：人類は「世界史の新しい時代と段階」に入りつつある

無神論は、サタン思想（世界の破壊）という形でしか存在できない

<https://www.infowars.com/posts/putin-humanity-entering-a-new-era-and-a-new-stage-in-world-history/>

Kelen McBreen

July 20, 2022

⇒「その根底にあるグローバリストと、偽リベラル・イデオロギーは、ますます全体主義的になりつつある」と、プーチンは言った。

ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、水曜日、「戦略的主導局」と呼ばれる、非営利組織によって行われた「新しい時代の強い思想」集会で、再びグローバル・エリートに対して演説を行い、彼らの古い世界秩序は終わりつつあると話した。

この年次フォーラムは、ロシアのリーダーたちに、全国の個人たちの提唱する「アイデア」を求め、国家的な壇上で討論をさせている。

現在、十分に記録されている事実だが、公的なロシア政府の声明や、報道リリースや、スピーチを聞くことは、狂気じみて困難になっている。それは、西側のインターネット提供者、ウェブサイト、社会アプリが、ロシアの伝達手段を停止しているためである。

<https://www.infowars.com/posts/putin-humanity-entering-a-new-era-and-a-new-stage-in-world-history/>

プーチンはビューアーに対して、この会話は、グローバリストの命令序列が再編されている現在、彼の国家内部の発展に役立っている、と話した。

「国家的で地球的なプロセスがいま進行中であり、調和的で、より公平な、より共同体に焦点を置く、安全な世界秩序が、現在の世界秩序に対し、また我々の生きている一極集中秩序に対する、代替物として発達しつつある。そして旧来のそれは、その性質上、我々の文明の発達に対して、どこまでもブレーキになりつつあるのだ」と、彼は言った。

ロシア指導者はさらに続けて、ドナルド・トランプが、「深層国家」のロシア版、「ゴールデン・ビリオン」と言われるものに言及したときのように反応した。「ゴールデン・ビリオン」とは、「正体の明確でないエリートが、富を蓄え、通常の人々の生命を破壊するために、人々を操っている」という説のことである。https://en.wikipedia.org/wiki/Golden_billion

「いわゆるゴールデン・ビリオンによる完全な支配のモデルは、不正なものである」と、プーチンは言明した。「なぜ、この地球の人口の一部にすぎない、ゴールデン・ビリオンが、あらゆる他者を支配し、例外主義という錯覚に基づく行動の原理を、強制しなければならないのだろうか？ それは世界を、第一と第二の階級に分けるもので、したがって人種差別主義者、ネオ植民地主義者のものだ。」

彼は続けて言った、「その根底にあるグローバリストと、偽リベラル・イデオロギーは、ますます**全体主義に近づきつつあり**、創造的な努力と自由な歴史的創造を制限しつつある。」

ロシア大統領は、ゴールデン・ビリオンが「多大な利益を得た」ことは認めたが、それは主として「アジアとアフリカの異民族を収奪することによってであった」と、指摘した。

次にプーチンは、「西側や超国家エリートたちが、どれほど懸命に、既存の秩序を保存しようと努めようが、世界史の新しい時代と新しい段階は、やってきつつある」と言った。

彼は「**純粋な主権国家だけが**、高度成長の力学」を保持することができると言い、「生活水準や生活の質」において、他の国家を指導するだろうと言った。

それへの鍵は、「伝統的な価値と、高い人間的な理想を保護すること、そして個人が何かの手段でなく、究極的な目標であるようなモデルを、作り出すことだ」と、プーチンは言った。

彼は、個々の人々が発展するように仕向けることが、主権国家を発達させる重要な一環であると主張した。

「強く、独立し、競争ができるようになるためには、国家は、人々が社会や公衆に向って、最も重要な問題に呼びかけるのを、容易くする必要がある。」

こうしたことを熱心に説きながら、ロシア大統領は、「新しい時代の強力な思想」フォーラムが、1万9,000人の彼の市民が、変化のためにそのアイデアを、シェアするのに肝要なことを強調し、「私はあなた方の、このフォーラムが、開かれた、意味深い対話のための、カギとなる場所だと考える」と言った。

プーチンの言葉は、アメリカ、ロシア、ヨーロッパの指導者で、(旧来の) New World Order への移行を論じていた多数の人々からの、最近のコメントを集めている。

<https://perma.cc/LAU8-3P6L> <https://foreignpolicy.com/2022/06/27/new-cold-war-nato-summit-united-states-russia-ukraine-china/>

[訳者 Greatchain 注]

前の稿で言ったことの繰り返しになるが、日本政府や主流メディアの方々は、このプーチンの言葉が、空疎な虚言とか、単なる大言壮語に聞こえるかどうかを、よく検討していただきたい。キーワードは「**純粹な**主権国家だけが…」と言われている所である。主権国家という言葉には、「神から授かった正当な国家」という意味が、言外に含まれている。「篡奪」された国家ではないということである。このあたりで文句を言う左翼の連中は間違っている。神とか魂という言葉が、科学的でないから、従って根拠がないというような主張は、完全に間違いである。

そもそもこれは、「インテリジェント・デザイン」という言葉によって、ごく普通の論理を使って神の存在を説明しようとする、これを必死になって曲解し、嘲笑し、葬り去ろうとする者たちがいることからきている。そして、それが現在(メディアのおかげで)、勝利した形になっている。しかし、その滑稽な努力から、逆に、その正しさが証明できるであろう。これはプーチンの受けている不当な扱いに、よく似ている。

この意味での「主権」と、「主権の篡奪」について、最もよく描かれているのはシェークスピアの『テンペスト』であり、これを逆に裏返した、2012年ロンドン・パラリンピックの、イルミナティ主催の、あの出し物である。これらは宇宙そのものの、反対側(神側・サタン側)からの主権争いの話である。

これはまた、プーチンにも、JFKの暗殺にも似ており、また今回の安倍元首相の暗殺事件にも似ている。

プーチンが、理不尽な濡れ衣を着せられ続けていることを知っている、世界中の多数の人々が、あのマレーシア航空機墜落事件(2016)のころに、「プーチン大統領ならびにロシア国民の方々」へ、という共同の公開謝罪状を出した。この書簡は、正義に立ち向かうプーチンと、暗殺されたケネディ大統領の立場が、よく似ていることを指摘している。

https://www.dcsociety.org/2012/info2012/161012_1.pdf

暗殺されたケネディは、オズワルドという（狂った）悪人に射殺されたもので、この男を処刑すればそれで解決することになっていた。安倍元首相は、悪い教団の（狂った）一人に殺されたもので、この教団を禁止すれば、それで済むことになっている。しかし両方とも、それでは済みそうにない、深刻な疑問や疑惑が、次々に起こってきた。そう考えると、その背後にあるものが、少なくとも似たような、暗黒の勢力ではないかという、推測が生じてくる。そしてそこへ、プーチン氏がどうしても関わってくる。なぜならプーチン氏は、この宇宙への不当な「主権」を主張する者たちから、正当な主権を要求する、平和的だが、相手から見れば恐ろしい敵だからである。

すべては繋がって、グローバルに動いているように見える。先を読むことはできないが、ただ、ここで言われているもう 1 つのキーワード「**全体主義**」totalitarianism への傾向は、安倍事件とともに、強化されるのではないかと思われる。すなわち言論の弾圧である。（7月25日）